

横浜市接続期カリキュラム研究推進地区事業(概要)

1 目的

幼保小で連携して接続期カリキュラム(アプローチカリキュラムおよびスタートカリキュラム)を編成・実施し、幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図る。また、幼児期の教育で培ってきた資質・能力とその表れとしての「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりにした教育活動や具体的な実践のモデルを示す。

2 内容(推進内容例)

- (1) 架け橋カリキュラム(スタートカリキュラムおよびアプローチカリキュラムを含む)の共同開発
- (2) 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を共有するための研修の実施
- (3) 架け橋カリキュラムのモデル発信
 - ア 子ども主体の「遊びが学び」の公開保育
 - イ スタートカリキュラム公開授業
 - ウ 架け橋期カリキュラムをテーマにした公開研修会・研究会の実施
 - エ 幼保小接続期研修や連携研修における実践提案

※上記の推進内容から、地区(園や学校)の実情に応じて実施。
※イについては、2年目以降は必ず実施。
- (4) 園や学校における、こどもたちの主体的な活動につながる空間づくり
※1~2地区

3 方法

- (1) 推進委員会を設置し、協働で計画的、継続的、組織的に推進
- (2) 接続期カリキュラムの編成・実施に向けて、研究を推進(3年間の継続研究)
- (3) 研究成果を区内・市内に発信(以下発信例)
 - ア スタートカリキュラムのねらいを踏まえた公開授業研究会の実施
 - イ アプローチカリキュラムのねらいを踏まえた公開保育研究会の実施
 - ウ 幼保小接続期研修会や連携研修等における実践提案
 - エ 接続期カリキュラム実践事例集等での実践報告など
- (4) 「幼児教育推進体制を活用した幼保小の架け橋プログラム促進事業」への協力園・校としての取組
ア 「環境構成」に視点を当てた取組
イ 市外からの視察等の協力 等

4 補助金

「横浜市接続期カリキュラム研究携推進地区事業補助金交付要綱」に基づき交付

5 参加園校

令和 4年度 3地区	7園校	令和 5年度 4地区	9園校
令和 6年度 5地区	12園校	令和 7年度 5地区	15園校
(幼稚園:2 保育園:8 認定こども園:0 小学校:5)			

6 成果の公開(予定)

成果発表(第3回連絡会)

「横浜市 接続期カリキュラム研究推進地区事業」で検索

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/hoiku-yoji/shitukoujou/renkei/>

